

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第112号

令和3年2月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園  
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28  
TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ

https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

# 聖徳フラッシュ

## 第五回 高校生の体験発表会 オンライン開催

十一月二十一日(土)、本学主催による「第五回高校生の体験発表会」を開催しました。例年は川並香順メディアホールにて行いましたが、今年度はオンラインで開催し、高等学校三十五校、中学校一校より四十一団体が発表を行いました。また、オンラインで開催したことにより、例年は参加することのできない遠方の学校からの参加もありました。多くの高等学校にとっても初のオンライン発表会であったため、リハール期間を設け、一校ずつ配信確認を行う等、準備を進めました。

当日は、機器トラブルで一時的に発表が中断するハプニングがありました。発表順を入れ替えるなど柔軟に対応し、全ての参加校が無事発表を終えました。



開催にあたり挨拶する川並弘純学長

発表のテーマは、部活動の活動報告から、研究発表、学校紹介までバラエティ豊かでした。今年度の特徴として、コロナ禍におけるボランティア活動や東京オリンピック・パラリンピックに向けた国際理解に関する内容が多く見られました。発表のスタイルも団体ごとにさまざまな特色がありました。パワーポイントの資料を画面で視聴者に共有しながら発表する、スクリーンに投影された資料を見せながら説明する、スケッチブックを用いて発表する、資料を全く使わずスピーチのみで発表する、など例年より多様な手法が見られました。

最も優れた発表に贈られる「聖徳大学長賞」は体験発表会の後日に決定しました。今年度は、学校のビデオテープにおけるヘイケボタルの完全人工飼育の取り組みを通じて、環境問題と都市計画について考察した千葉県立小金高等学校「ホタルの人工飼育を通して環境保護と地域発展を考える」が、八千代市内のパン職人と協働してオリジナルパンを考案・販売した取り組みとそこから得た学びについて発表した千葉県立八千代高等学校「パン作りを通じた地域貢献」やちパンプロジェクト「いつから色によって男女を区別する色の固定観念が生まれるのかという

INDEX

- ▼ 学園 ..... 25
- ▼ 大学院・大学短大 ..... 1, 2, 3, 4
- ▼ 幼児教育専門学校 ..... 6, 6, 5
- ▼ 附属女子中・高 ..... 6, 6, 5
- ▼ 取手聖徳女子中・高 ..... 6, 6, 5
- ▼ 小学校 ..... 6, 6, 5
- ▼ 幼稚園 ..... 6, 6, 5
- ▼ インフォメーション ..... 6, 6, 5



ことについて幼児期に着目し調査・分析した聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校「幼児期における色の固定観念について」の三校へ授与されました。

オンライン発表という限られた枠組みの中でも、各団体が内容や発表スタイルにさまざまな趣向を凝らし、創意工夫した様子が伝わる体験発表会となりました。今後も本学では、高校生の体験発表会をはじめ、高校生や地域住民の学びに寄与する活動を続けていきます。



上位入賞校の発表動画はこちら

聖徳大学 教育学部

教育は無限だ。

“子ども”を学問する。

育つ未来を  
育てる人

児童学科

幼稚園教員採用数  
保育士採用数  
全国1位

※2022年4月 設置構想中

2022年4月 聖徳大学 児童学部は教育学部として、新たな挑戦を始めます。

### 児童学部が新たなフィールドへ

- 新設学部について  
教育学部  
児童学科/学士(児童学)  
教育学部/学士(教育学)  
※2022年4月設置構想中
- 入学定員  
教育学部 400人  
児童学科 昼間主 310人 夜間主 7人  
教育学部 昼間主 80人 夜間主 3人

## 速報!

### 令和2年度 公務員採用試験合格実績

(令和3年1月25日現在)

#### 公立小・中・高等学校教員合格者 29名

- 【公立小学校教員】  
東京都7名/千葉県・千葉市10名/埼玉県6名/岩手県1名/福島県1名
- 【特別支援学校教員】  
福島県1名
- 【養護教諭】  
東京都1名
- 【公立中学校・高等学校教員】  
千葉県・千葉市1名/茨城県1名

#### 公立幼稚園教員合格者 6名

- 東京都 特別区2名 ■ 千葉県 計3名 浦安市1名/市川市1名/八街市1名
- 埼玉県 加須市1名

#### 公立保育士合格者 95名

- 東京都 計43名 葛飾区14名/江戸川区7名/江東区2名/港区4名/荒川区1名/足立区6名/台東区3名/大田区1名/板橋区1名/品川区1名/文京区1名/北区2名
- 千葉県 計30名 印西市2名/四街道市2名/松戸市9名/成田市3名/千葉市1名/船橋市6名/柏市5名/八千代市1名/流山市1名
- 埼玉県 計15名 さいたま市3名/越谷市2名/三郷市2名/上尾市2名/川口市2名/草加市4名
- 茨城県 計5名 ひたちなか市1名/阿見町1名/神栖市1名/石岡市1名/取手市1名
- 神奈川県 計2名 相模原市1名/川崎市1名/

#### 幼稚園教員・保育士一括採用合格者 4名

- 岩手県 北上市1名 ■ 千葉県 計2名 館山市1名/茂原市1名 ■ 福井県 坂井市1名

#### その他職種 5名

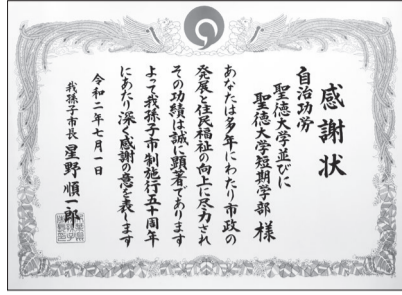
- 【警視庁】警察官1名
- 【防衛省】海上自衛隊1名
- 【児童指導員】千葉県1名
- 【栄養士】千葉県1名/船橋市1名

### 令和2年度 文化庁長官表彰

多年にわたり声楽家として活躍するとともに、後進の育成にも努め、我が国の芸術文化の振興に多大な貢献をしたことにより、12月17日(木)、文化庁長官表彰を受けました。



聖徳大学音楽学部 音楽学科 教授 伊原 直子



我孫子市市制五十周年 自治功労表彰  
令和二年七月一日(水)、千葉県我孫子市は市制五十周年を迎えました。これを記念して十二月二十三日(水)に「市制施行五十周年式典」が執り行われ、長年にわたり市政の発展と住民福祉に貢献したとして、聖徳大学・聖徳大学短期大学部が功労表彰を受けました。

### 第51回 千葉県私学教育功労者表彰

第51回千葉県私学教育功労者表彰式が12月5日(土)、千葉市文化センターにて行われ、本学園より次の5名の先生方が、千葉県の私学教育の振興・発展への功労者として表彰を受けました。



聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 教授 川池 秀明  
聖徳大学 短期大学部 保育科 教授 寺田 博行  
聖徳大学 附属女子中学校・高等学校 教諭 小室 信男  
聖徳大学 附属女子中学校・高等学校 教諭 菊池 昭宏  
聖徳大学 附属女子中学校・高等学校 教諭 松浦 和之



式典にて 左から川池秀明常務理事、小室教諭、松浦教諭、菊池教諭、川並弘純理事長

### 高等学校長会との連携

千葉県高等学校長会と連携して、令和二年度地区高等学校長会議が本学で実施されました。九月二日(水)は松戸・鎌ヶ谷地区校長会議、十月十四日(水)は印旛地区校長会議、十一月二十日(金)は市川・浦安地区校長会議が開催されました。地区理事の校長、川並弘純学長からの挨拶の後、和やかな雰囲気の中会議は進行し、情報交換を行いました。印旛地区校長会議では、阿部真美子保育科(第一部)長による「保育の聖徳®の取り組み」をテーマに、保育の伝統、改革や改善への取り組み、児童学部と短大保育科との連携についての講演がありました。

市川・浦安地区校長会議では、増井三夫副学長が「大改革、教育革新、高大連携の現在」をテーマに、学びの連続や公共性を追求することの大切さについて講演しました。また、入学センターより、本学の入試改革について説明する時間も設けました。



パイプオルガン演奏を鑑賞しました。また看護学部のシミュレーション施設を体験するなど、有意義で内容の濃い交流になりました。

### 地域貢献活動の実践

### 「クマちゃんのファッションショー2020」 ～あなたがクマちゃんのデザイナー～」



夢いっばいのクマちゃん(一例)と学生

十二月十一日(金)、本学部の「地域貢献活動の実践発表会」を行いました。地域貢献活動は、地域を活性化するための取り組みをはじめ、その活動を通して自ら課題を発見して企画・立案・実践すること、コミュニケーション力やスキルを高めることを目的としています。

今回はその企画の一つ、「クマちゃんのファッションショー」(あなたがクマちゃんのデザイナー)の活動として紹介します。このグループは、二年生のファッションコースと図書館司書・ITコースの学生で構成されています。違うコースの学生が互いに助け合うことで、コースの専門性を生かし、企画を立案し、活動します。企画内容は「新型コロナウイルスの状況下で、子どもたちが笑顔で喜んでもくれること」をコンセプトに「子どもたちの大好きなぬいぐるみのクマの洋服を作り、プレゼントする」ことを目標に掲げました。ポスターを作成し、松戸市内の三歳から六歳までの未就学児を対象にデザイン画を募集し、選考会を経て作品(洋服)を作りました。夢のある素敵なデザイン画が

聖徳大学短期大学部 総合文化学科 だより

### 聖徳大学 人間栄養学科の学生が 「松戸No.1料理人決定戦」 ファイナリストに

十一月二十八日(土)、松戸市内の商業施設キテミテマッドで「松戸No.1料理人決定戦」新しい松戸名物を作り出すのはキミだ!!」が開催され、人間栄養学科四年古田みゆるさんが、約二百名の応募の中から最終選考十名に選ばれました。「松戸No.1料理人決定戦」は、コロナ禍で厳しい状況の今、

食を通して市民や近隣住民が元気になれる企画を発信したいという思いから始まりました。千葉県在住または県内に通勤・通学する人が対象で、プロ、アマチュアを問わず出場が可能です。古田さんの応募作品は「カラフルマッドン」(ガーリックシュリンプ添え)です。色とりどりの野菜を



使用し、活気あふれる松戸を表現しました。また、ピーナッツをトッピングして千葉らしさを表しました。とりわけガーリックシュリンプとアボカドの組み合わせが女性審査員に大好評でした。



写真中央が古田さん

管理栄養士という夢を目指して本学に進学した古田さんは、多くの仲間と出会い、素晴らしい日々を過ごしてきた松戸への感謝の気持ちを込めたそうです。

百五十三枚寄せられました。製作活動では人間とは異なるぬいぐるみの体型に悪戦苦闘しながら仮縫いを繰り返して仕上げていきます。学生たちが製作上最もこだわったことは、子どもたちが描いたデザイン画を忠実に表現することでした。実践発表会では、作り上げた服をクマのぬいぐるみに着せて披露することができました。発表会の投票により「子どもたちからデザイン画を募集して服を作る」アイデアや活動が評価され、最優秀活動賞を受賞することができました。学生たちの活動は今後も続きます。服を着たクマちゃんをSNS上で発表することや、入選した子どもたちにぬいぐるみをプレゼントすることが本活動の最終的なゴールです。学生はクマちゃんを手にして喜ぶ子どもたちの姿を夢見て日々活動を続けています。

### 日本ピアノ調律師協会関東支部主催 第二十二回 新人演奏会



針生瑞菜美さん(左)と音楽学科の原佳之教授

### 音楽学部・大学院音楽文化研究科 第二十二回 定期演奏会

十二月五日(土)、川並香順記念講堂にて音楽学部および大学院音楽文化研究科による第二十二回定期演奏会を行いました。

長い歴史を持つ定期演奏会ですが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、今回初めて無観客で開催しました。出演者は手指消毒を行い、また演奏が終わる度に教職員が楽器の消毒や会場の換気を行うなど三密の回避に気を配り、徹底した感染症防止対策の中で演奏を行いました。

今回のプログラムは、独唱、独奏や少人数でのアンサンブルで構成されました。まず音楽文化研究科博士前期課程一年の山崎葵さんが歌劇『ジャンニ・スキッキ』より『私のやさしいお父さん』を、続く松丸葉月さん(同博士前期課程一年)は、藪内俊弥講師と共に歌劇『ドン・ジョヴァンニ』より二重唱(あそこで手を取り合って)を、声楽の最後は



川並和香さん(同博士前期課程一年)が歌劇『ラ・ボエーム』より『私の名はミミ』を演奏しました。声楽のピアノは鳥井俊之教授が担当しました。

十月十一日(日)、日本ピアノ調律師協会関東支部主催「第二十二回新人演奏会」が神奈川県立音楽堂で開催されました。関東の音楽大学の代表者が出演するなか、本学からは、令和二年三月に音楽学部演奏学科を卒業した針生瑞菜美さんが出演しました。

針生さんは卒業以降も、小学校で教鞭をとる傍らピアノの練習を積み重ねてきました。当日の演奏曲目は、『ラフマニノフの『楽興の時』

OP.十六より、第一番、第三番、第四番。自分の持ち味を十分に発揮し、演奏学科四年間の学びをさらに成長させた立派な演奏を展開しました。ホールでは、残響をうまく利用して自分の演奏に取り入れ、繊細さとダイナミックさを合わせ持つ見事な演奏を披露しました。今後、社会人として活躍し成長しながら、音楽活動においても研鑽を重ね、ますます輝き続けてくれることでしょう。

次に音楽学部四年の金子小夜さんがF.クローンマーのクラリネット協奏曲変ホ長調を、同じく四年の中村あゆみさんのピアノで演奏しました。



出演者一同 [撮影:佐久間篤]

続いて博士前期課程一年の園田綾香さんによるパイプオルガンで、『マルシャンの『オルガン曲集 第三巻』より『グラン・デアローグ』が披露されました。

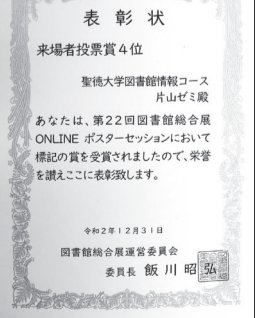
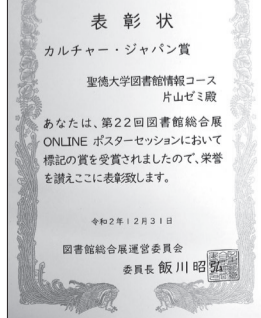
ピアノ独奏では、学部三年の金井遙さんがA.スクリャーピンの『幻想ソナタ』を、四年の中村あゆみさんがM.ラヴェルの『鏡』より『蛾』(道化師の朝の歌)(鐘の谷)の三曲を、最後に博士前期課程二年の山中優美さんがF.シヨパンのバラード四番を演奏し、定期演奏会は幕となりました。

コロナ禍で音楽を学ぶ学生たちは、音楽を行う環境に大きな制約を受けながら学びを続けてきました。今回出演した学生たちも、これまでになく厳しい環境の中で本番を迎えましたが、音楽の大切さや演奏する喜びを改めて感じていることが伝わる熱演となりました。

### 聖徳大学文学部の学生が図書館総合展ポスターセッションにてW受賞の快挙

図書館に関するすべてが集まるイベントとして毎年十一月に開催されている「図書館総合展」。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインで行われました。本学文学部図書情報コース片山ゼミ三年生がポスターセッションに参加し、「来場者投票賞四位」入賞および「カルチャー・ジャパン賞」受賞を果たしました。

大枝寧々さん、高橋彩実さん、高橋奈々さん、田村友里さん、中野郁子さんの五名は「学校図書館にはどのような情報技術が求められているのか?」利用者のニーズから」というテーマで研究発表を行いました。例年は会場にて三日間開催されますが、今回はオンラインで十一月一日(日)から三十日(月)までの日程で一月間行われました。学生



は期間中、ブログ形式で調査結果を段階的に発表して「来場者」を飽きさせないようしたり、YouTubeで十分間の動画を配信し視聴者に伝わりやすいメッセージを心掛けた。オンライン開催の特徴を的確に捉え、効果的に情報を発信しました。

### 花を愛でる粋な牛「ふえるじなんど」

新年が明け、早一カ月が過ぎました。今年もよろしくお願ひ申し上げます。昨年は尋常ならざる年になってしまいました。落ち着いた日々が戻るように強く願わずにはいられません。さて、丑年にちなんで、今回ご紹介する「ふえるじなんど」は、マンロー・リー

で闘牛になることを夢見ながら。でも、年を経て、大きく強くなっても彼は変わりません。いつもの場所を腰を下ろした時、大きなくまの蜂に刺されてしまいました。彼は地面を蹴散らかして暴れまわっているところを、闘牛のスカウトに来ていた男たちに見られてしまいました。彼は闘牛デビューすることになるのですが、見物のご婦人の方の花の匂いとうっとりしてしまい、戦うことを

しませんが。結局故郷の牧場に帰されてしまいました。原作は一九三六年に出版されました。スペイン内戦の始まった年です。戦わない彼には政治的な議論もあつたようですが、時流に乗らない、さりげない日々の大事事を伝えているように思えます。「ふえるじなんど」のとほけた表情、小さな画面がとてつもなく見える遠近感、素敵な絵本です。(館長 村山 隆雄)

### 保健センター 所長だより 新型コロナウイルス感染症 COVID-19ワクチンについて

今回は、新型コロナウイルス感染症COVID-19ワクチンについてお話しします。待望のCOVID-19ワクチンは、昨年二〇二〇年十二月より、英国その他で接種が開始されました。今回、開発・接種されたワクチンの最大の特徴は、COVID-19ワクチンの遺伝子情報(mRNA)を私たちの体の細胞の中に入れ、COVID-19に対する免疫を得るといった画期的な方法を用いていることです。つまり今回のワクチンは、mRNAによりCOVID-19のスパイク糖タンパクを私たちの体の中でつくり、このス

パイク糖タンパクに対する抗体をリンパ球(CD4)により作り、またウイルスを直接攻撃するリンパ球(CD8)を増やすことが証明されています。いまのところ、COVID-19ワクチンの有害事象(副作用)は、アレルギー反応などが心配されています。さて日本では、昨年二〇二〇年十二月にCOVID-19ワクチン接種許可申請が行われました。審査が順調にいけば、早ければ今年春には、接種が開始される予定です。まずは、COVID-19にかかると重くなりやすい、ご高齢の方、元々病気を患っている方々や医療に携わっている方々から接種予定です。日本独自の新型コロナウイルスワクチン開発もやゆつくりですが、進行中です。今年度中にワクチンが必要の方々に接種できることが切に望まれます。(所長 宮川 三平)

□ 聖徳学園の人間教育

「シリーズコンサート」を初のオンラインで

「シリーズコンサート」は本学園の小学生から大学生までを対象に実施しています。心の成長にあわせて、オーケストラ、バレエ、ミュージカル、歌舞伎など幅広いプログラムを編成し、日本と世界の一流の音楽・舞台芸術に触れることで豊かな感受性と表現力を養います。本コンサートは昭和56(1981)年より川並香順記念講堂にて通算1,700回を超える公演を行ってきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、WEBによるLIVE配信を初めて行いました。

今号では、日本を代表する国際的なジャズピアニスト・ハモンドオルガン奏者の小曾根真氏と、世界で活躍するパイプオルガニストで本学音楽学部所属する松居直美教授によるコンサートをそれぞれ紹介します。

講評	シリーズコンサート	小曾根 真 featuring No Name Horses (2020.10.28)
	No.1774	

10月28日(水)の「小曾根真 featuring No Name Horses」がどのようなコンサートになるのか、パソコンの前でわくわくしながら待ち構えていましたが、それは想像以上に素晴らしいものでした。コンサートが始まると画面に現れたのは、普段良く知っている川並香順記念講堂の、ライブハウスのような照明に飾られた姿でした。舞台の後ろに見えるパイプオルガンのパイプも照明によってまったく印象が変わり、コンサートのムードにぴったり合ったものに変身して、すてきな効果を生んでいました。画面越しにジャズの華麗な世界へと一気に誘われ、コンサートは始まりました。

小曾根真さんは、ご存知の通り日本を代表するジャズ・ピアニスト、ハモンドオルガン奏者です。アメリカの音大でジャズを学んだ後、認められて本場アメリカで長く活躍をした国際的な音楽家です。その小曾根さんが2004年に結成した「No Name Horses」は、15名のメンバーそれぞれが独自のバンドのリーダーを務めているという実力派ぞろいのビッグバンドです。ジャズには、全員のアンサンブル部分の他に、決まった和声進行の上でメンバーそれぞれが即興演奏を繰り広げる「見せ場」がありますが、こういう即興はクラシック、特にバロック時代の即興演奏と同じやり方なのです。西洋音楽の長くおおらかな流れから、ジャズという素晴らしいジャンルが育っていったことを、素晴らしいジャズ演奏を聴くといつも思うのですが、今回も小曾根さんの即興演奏はむろんのこと、トランペット、トロンボーン、サクソフォン、ベース、ドラムスといった、多彩な楽器のソロを堪能しました。

軽妙な小曾根さんのトークとともにコンサ-



の間に、村中の父親たちは皆、都会に出稼ぎに出てしまいましたが、小学校の高学年になる頃は、この儀式は母と私の役目となったのです。往時は意味も分からず豆を撒いていましたが、それを終

ころ亡き父と一緒に、鬼が嫌うという柀鱒を玄関先や部屋の隅に供えて「鬼は外! 福は内!」と声高らかに豆撒きをした記憶が蘇ります。雪深い故郷では雪解けまでの間、村中の父親たちは皆、都会に出稼ぎに出てしまいましたが、小学校の高学年になる頃は、この儀式は母と私の役目となったのです。往時は意味も分からず豆を撒いていましたが、それを終

えた後に炒った年の豆を歳の数が少ない私に母が分けてくれ、一緒に食べることが何よりものご馳走であり、今にして思えば豆撒き以上の効果がある鬼をも寄せ付けぬ親子の絆というものだったのかも知れません。鬼は外!

特に今年は自粛生活で「気滅」のやり場のない状態になっている方が多いと思います。みなさんも今一度、家族の絆を強く結び直して「全集中!」で鬼退治をしてみたいかがでしょうか。今年は「リモート豆撒き」なる新しい展開になるかもしれません。窮すれば即ち変ず

き、災害対策本部を設置し、自衛消防隊の各担当班が責任をもって任務を遂行しました。新型コロナウイルスの流行で新たな生活様式を強いられる中にも、これまでと変わらず、一人ひとりが防災に對する意識を持つことの重要性を再認識する訓練となりました。

せめて社会に巣立つ学生たちにおいては、大豆の花言葉の如くに「可能性は無量大」なのです。これから立ち上がる、今の中に自身の「鬼滅の刃(能力)」を磨いてほしいと願うばかりです。

聖徳大学陸上競技部 監督 佐藤 信春

トは進んでいきましたが、途中から特別ゲストとして若きエレキ・ギター奏者の山岸竜之介さんも登場して、妙技を披露してくれる豪華なものとなりました。一時、ハード・ロックのギタリストの超絶技巧に魅せられていたことを思い出し、その自在な演奏とエレキ・ギター独特の音色を楽しみました。

シリーズコンサートを聴いた後は、いつも混雑する講堂の外階段を下りながら楽しむ余韻を、今回は、暗くなったパソコンの画面を眺めながら、一人楽しみました。(音楽学科 教授 松居 直美)

講評	シリーズコンサート	パイプオルガンコンサート (2020.11.9)
	No.1775・1776	

先日、大学の職員の方とこんな話になりました。「実に不思議なんだけど、川並香順記念講堂のパイプオルガンを松居直美先生が弾いたら、他の人と音が全然違って聞こえるんだよ」

そうなのです。松居直美先生が弾くと、重厚で品のある音色ながら、各声部が聴き取りやすく立体的に聞こえます。パイプオルガンという楽器の仕組みを考えると、これは案外不思議な出来事。パイプオルガンの仕組みを大雑把に言うと「鍵盤ハーモニカの親玉」。後ろに並ぶ巨大なパイプに空気を流すことで発音する管楽器の一種で、現代ではコンプレッサーで空気を流していますが、昔は水圧によって押し流したり、巨大な轆を人力で動かして流す壮大な仕掛けでした。多数の中からどのパイプに空気を流すのかは、奏者の手足で操る鍵盤(コンソール)と、鍵盤の左右にあって助演者が「ガコンガコン」と引いたり押ししたりしていた「ストップ」という機構によって選ばれます。鍵盤とストップによって空気の流れを通したり遮ったりすることで音を出したり止めたり、言わば鍵盤がスイッチの役割を果たします。鍵盤もストップも、on-offゼロイチの情報しか伝えることができないスイッチでしかありません。ヴァイオリンやフルートのように微妙なニュアンスや音量を変化させられないのがオルガンの特徴。先ほどの会話での疑問はまさに「誰が弾いても同じ音色になるはずのもので、どうやって違いをだしているのだろうか?」という点なのでした。

それはね、芸術家の神懸かりの力なのだよ、なんて言うのは簡単ですが、私も音楽家の端くれなので科学的に説明できなくてはいけません。

妻の秘密には大きく2つの要素があると思います。ひとつは、ストップによる音色の選択。時代様式や曲調に合わせて絶妙な音色選択をしたり、逆にエスタンピーのような古い作品では敢えて単一の音色で表現してみたり。でも、より大きな力があると感じたのは、メロディーの音と音の間、次の音に行くときに音をつなぐのか切るのか、切るのだったらどの程度隙間を開けるのか...専門用語でアーティキュレーションなどと言いますが...実はこれで音色の印象ガラッと変わります。この工夫が随所に見られました。

音楽を聴くときに、どんな楽器の仕組みで、奏者はどんな苦労や工夫をしているのか? そんなところに着眼するののひとつの楽しみ方かもしれません。(音楽学科 准教授 中村 克己)



【鬼やらい】

聖徳大学陸上競技部 監督の部屋 35

前略 日頃より、本学陸上競技部にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。光陰流水の如し、新型コロナウイルスが蔓延(まんえん)してから一年余りが経ち二月を迎えました。今年の節分の豆撒きのターゲットは、コロナ鬼となるのでしようか。余談ながら、疫病を鬼に見立てて追い払う「鬼やらい」といういにしへの神事が節分の起源になったようです。

時を待ちて動く。つまり、こんな時だからこそ、今のうちに能力(器)を磨き、満を持して新しい展開に備えようということなのでしょう。私もかくありたいものです。しかしながら、還暦を迎えたばかりの私はと言えば、年の豆を歳の数は食べきれず、それでも「無病息災」ならぬ「無病催促」をしてしまおうのですから、いやはやです。

令和二年度 聖徳大学消防・防災総合訓練

松戸キャンパスでは、災害時に短時間で安全に避難することができるよう、毎年消防・防災総合訓練を実施しています。十一月二十七日(金)十二時五十分、大規模地震が発生した想定で訓練を行いました。学内に非常放送が流れ、学生や教職員、附属幼稚園の園児、その他関係者が誘導に従って速やかに指定された場所へ避難しました。各班より報告が入り、

十二時十五分、九百九十九名が避難完了したことが確認されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため一部内容を変えて実施しましたが、教職員は「松戸キャンパス災害発生時避難マニュアル」に基づ

新型コロナウイルスの流行で新たな生活様式を強いられる中にも、これまでと変わらず、一人ひとりが防災に對する意識を持つことの重要性を再認識する訓練となりました。



指定場所へ避難する学生たち

### 確定申告の際は、「寄附金控除」の 手続きをお忘れなく

聖徳学園へのご寄付は、所得税法上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。個人の方のご寄付につきましては、従来までの「所得控除」に加え、令和二年七月一日以降のご寄付より、新たに「税額控除」も適用されるようになりました。確定申告の際に、どちらかを選んでください。

#### 【手続き参考】

寄付金の種類	税額控除の場合：公益社団法人又は公益財団法人等に対する寄附金 所得控除の場合：上記以外の寄附金控除に該当する寄附金
条例指定の 対象地区	都道府県：東京都・千葉県・茨城県 市区町村：八王子市・松戸市・成田市・浦安市・取手市 ※お住まいの地域が対象地区に含まれているかご確認ください。

今年の申告受付は二月十六日(火)より開始されます。手続きを忘れないようご注意ください。

## 募金だより

### 「聖徳教育學術振興募金」寄付者芳名一覧

### ご協力ありがとうございます

●法人役員関係 三〇〇,〇〇〇円 川並 弘純 様 (二〇,〇〇〇円)	●職員関係 四〇〇,〇〇〇円 小池 一夫 様 一〇〇,〇〇〇円 川並 孝純 様 川並 珠緒 様 (四〇〇,〇〇〇円) 六三〇,〇〇〇円 九〇,〇〇〇円 山本 真理子 様 五〇,〇〇〇円 水戸 美津子 様	●その他 三〇〇,〇〇〇円 高橋 英雄 様 (一,二〇〇,〇〇〇円) 一,九八九,〇〇〇円 匿名希望者合計 四一件 四〇五,〇〇〇円 四三六件 七一〇,九二〇,〇四一円 ●累計 三,四八五〇,五〇〇円	●職員関係 四〇,〇〇〇円 山本 真理子 様 ●合計 二一四,〇〇〇円 三件 ●累計 三,四八五〇,五〇〇円	●和会関係 二〇〇,〇〇〇円 長江 曜子 様 (七〇〇,〇〇〇円) 一〇,〇〇〇円 上坂 真奈美 様 (二八,〇〇〇円)	●大学後援会関係 一〇〇,〇〇〇円 田代 和子 様 (四〇〇,〇〇〇円) ●和会関係 一〇〇,〇〇〇円 長江 曜子 様 (二〇〇,〇〇〇円) ●ひじり会関係 二〇〇,〇〇〇円 高橋 博子 様 (六〇〇,〇〇〇円) ●教職員関係 四〇〇,〇〇〇円 小池 一夫 様 一〇〇,〇〇〇円 川並 孝純 様 川並 珠緒 様 (四〇〇,〇〇〇円) 六三〇,〇〇〇円 九〇,〇〇〇円 山本 真理子 様 五〇,〇〇〇円 水戸 美津子 様	●職員関係 四〇,〇〇〇円 山本 真理子 様 ●合計 二一四,〇〇〇円 三件 ●累計 三,四八五〇,五〇〇円
---	--	--	---	--	--	---

### 「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」 寄付者芳名一覧

(注)公開をご希望されない方については、掲載しておりません。令和二年十二月末までに寄付が特定できました方を掲載いたします。(なお、お振込の照会に時間がかかり、掲載が遅れる場合がございます。その際には、次号にてご報告いたします。)

●お申し込み・お問い合わせ先  
東京聖徳学園 募金課 TEL:047-3905-1111代  
ホームページアドレス <https://setoku-u.ac.jp/donation/>

## 幼児教育専門学校

### 鴨川研修を 学外研修代替として 実施 鴨川シーワールドへ

十一月二十八日(土)、本校一部および二部の一、二年生を対象に、新型コロナウイルスで中止した学外研修の代わりに「鴨川研修」を行いました。学生と教職員の計五十名がはとバスに乗り、鴨川シーワールドに行きました。この研修の目的は四つあります。①学生同士や、学生と教員との親睦を深める、②環境問題自然について考える、③幼児教育者・保育者としての視点を学ぶ、④入学からこれまでの学校生活の目標を再認識し、今後の学習意欲を高めるきっかけにすることです。



数人の学生で班になり、親睦を深めながら館内を楽しみました。あわせて幼児教育者・保育者としての視点で館内の見学・観察も行いました。足元の暗い箇所や段差、凹凸のある壁での注意がけの仕方や、園児の体力に配慮した見学コースの必要性について考えるきっかけになりました。この日遊びに来ていた子どもたちからは生き物に触れた瞬間の輝く表情などを知ることができました。

## 附属小学校

### 毛筆書写への取り組み 児童と教師の視点から

本校では開校以来、一年生から毛筆書写を取り入れていきます。その甲斐あって、書写や書道に熱心に取り組む児童が多く見られます。



和洋女子大学競書大会入賞 作品を掲げる植口将くん

指導も仰ぎ、段を目指しますと、意欲を語りました。書写の授業を指導する松原直也先生が大切にしているこの指導も仰ぎ、段を目指しますと、意欲を語りました。書写の授業を指導する松原直也先生が大切にしているこの指導も仰ぎ、段を目指しますと、意欲を語りました。

## 第六十四回 グループ研究発表会

十二月十三日(日)、第六十四回グループ研究発表会を開催しました。一部二年生、二部三年生と、聖徳大学短期大学部保育科二年三年生が、第一分科会と第二分科会の計四グループに分かれて、それぞれの研究成果を発表しました。各グループのテーマは次のとおりです。

- 第一分科会 「ドキュメンテーションポータルサイト作成の試み」(コロナ禍における幼稚園での行事)
- 第二分科会 「保育活動における人形遊び・人形劇の活用」(短大三年)、「子どもの心は心子子どもの心は心子」(二年)



二十分間の発表後、十分間の質疑応答、指導教員による講評がありました。

- 銀賞/グリーンクロスインナーナショナル賞(五年 近藤怜奈さん、清水怜奈さん)
- 佳作/グリーンクロスジャパン奨励賞(三年 小泉沙織さん、五年 根岸しんらさん)

活動に取り組んだ児童たちからは「世界中で起きている悲しい事態を知った」周りの人たちにも危機感を伝えていきたいなどの声が寄せられました。身近な環境問題をきっかけに、子どもたちの視線は世界へと向けられています。

一九九九年に始まった「みどりの小道」環境日記コンテスト(一般社団法人グリーンクロスジャパン主催)に、本校は二〇〇〇年から毎年参加しています。このコンテストは、期間中の毎日、環境活動を実践したり、新たな発見・学びについて日記を書いたりする活動です。一人ひとりの子どもが、環境問題への視点や行動力、そして継続する力が問われます。



左から、根岸しんらさん、近藤怜奈さん、清水怜奈さん 小泉沙織さん

### 附属女子中学校・高等学校

#### 中学一年生「一日校外学習」

十一月十九日(木)、中学一年生は「一日校外学習」に行きました。天候にも恵まれ、十一月としては最高気温が二十度を越える暖かい日でした。今年度は新型コロナウイルスの影響で、北斐科高原体験学習が中止となったため、一年生にとっては初めての校外での学習となりました。



東京国立博物館前にて

一日校外学習は、美術の授業の一環で「鑑賞」と「体験」を目的としています。授業や学年集会で事前準備を行い、コロナ対策についても十分な指導をして、当日を迎えました。朝、学校に集合したときには、生徒一人ひとりに笑顔があふれていました。

午前中は豊洲のチームラボプラネッツ TOKYO に向かいます。ここは現代美術の技術を体験できる施設で、CGやグラフィックを肌で「体感」することができ、水を張った池の中を、無数のCGの魚が泳いでいたり、天井をさまざまな色

#### 令和二年度第五学年 修学旅行

令和二年度の修学旅行は新型コロナウイルスの影響で、行先を九州から那須・会津・東京方面に変更して実施しました。場所の設定や交通手段など関係各位に相談しながら計画し、千葉県のガイドライン(保護者の同意が八十%以上)をクリアして実現につなげました。

十一月九日(月)から十二日(木)までの三泊四日の行程で、初日は那須どうぶつ王国に行き、自然や動物との触れ合いを楽しみました。二日に訪れた会津地方では途中降雪に見舞われましたが、喜多方での散策、若松城(別名「鶴ヶ城」など歴史探訪をし、充実した一日を過ごしました。三日目は、那須ハイランドパークで童

### 取手聖徳女子中学校・高等学校

#### 快挙!日本選手権三位入賞



左から須藤聖子ソフィーさん、湯澤義文校長、宮坂茉優さん

十一月十二日(木)から十五日(日)まで山口きらら博記念公園水泳プール(山口市)にて行われた「第九十六回日本選手権水泳競技大会」

のフリーコンビネーション部門に、本校の宮坂茉優さん(六年)と須藤聖子ソフィーさん(二年)が出場し、三位入賞を果たしました。この大会に毎年出場し続けた宮坂さんからのコメントが寄せられました。

今大会は、今年初めて参加できた大会でした。無観客試合でしたが、大会を開催していただけたことが本当にうれしく、ありがたく思

#### 女性キャリア 卒業論文発表会

十二月十日(木)、六年生の「女性キャリア」の授業で、全員がプレゼンターとなる「卒業論文発表会」を行いました。

一学期のリモート期間から、多くの文献にあたり、論文テーマを決定しました。知識や情報を詰め込むだけでなく、友人や教員との「深掘り面談」によって、自分の興味・関心や目指したい将来像について、生徒一人ひとりが自らを掘り下げ見つめ直しました。夏から秋は、アンケートの調査と分析を

コロナウイルスで鬱屈した日常が続いていましたが、生徒たちは少しリフレッシュできたようです。今後一人ひとりがさまざまな体験を得られるように工夫し、人間力を培っていきます。

に向けました。テーブルマナー講座を開催し、皆一斉に緊張した面持ちを見せましたが、講師が優しく丁寧に指導し、生徒たちは徐々に理解を深めていきました。料理長やホテル従業員からの心温まるおもてなしを受け、皆感無量の思いを抱きました。



ホテルニューオータニでのテーブルマナー

今年度ならではの特別な修学旅行を体験した生徒たちは、高校生活の思い出をまた一つ作り、笑顔で帰路に就きました。

いました。六年間日本選手権に出場し、今回初めてメダルを獲得することができました。

私は、日本選手権三種目チャレンジカップ二種目の計五種目に出場しました。

全ての種目において、課題がたくさん見つかりました。来年の日本選手権に向けて、またさらにレベルアップした成果をお見せできるように日々の練習を乗り越え、これからもがんばってまいります。YouTube配信を見てくださった皆さま、そして応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。六年 宮坂 茉優

今春卒業する宮坂さんにとっては本校在校生として最後の大会となりましたが、これからもその挑戦は続きます。また、須藤さんもますます技術に磨きをかけることでしょう。

行い、グループで小発表を繰り返しました。十月の聖徳祭では、十四名の代表者が来場者に向けて発表する機会も設けました。その後、それぞれの研究計画に沿って各自が本格的に論文の執筆作業に入りました。

昔からよく「子どもは風の子、元気な子」と言われますが、本園の子どもたちも朝登園すると「先生、はだしになります!」と言いに来ています。はだしになり園庭へ飛び出していきます。そんな子どもたちが現在興味をもっている取り組み遊び



互いに発表し合う生徒たち

これらの集大成として迎えた今回の卒業論文発表会。六年生全員が、四・五年生の前で、論文の概要や執筆

## 幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

こいこいまつり

十一月四日(水)に開催した「こいこいまつり」は「密にならず、クラスを分散して楽しく遊びましょう」をコンセプトに、新たな試みとして幼稚園(一・二階)と専門学校三階内で遊べるテーマパークを作りました。



ゲームで楽しく遊ぶ園児たち

毎年大盛況のゲーム「スマートボール」や「的当て」に加えて、TBSテレビの人気番組「SASUKE」から着想を得て新たに企画した「こいこいまつり」は、子どもたちから大好評でした。

これは、二部屋のスペースを使って子どもたちが巧技台の上に乗ったり、くぐったり、ジャンプしたりしながらゴールに向かう体験型のゲームです。学生と子ども

#### 子どもは風の子 元気な子

昔からよく「子どもは風の子、元気な子」と言われますが、本園の子どもたちも朝登園すると「先生、はだしになります!」と言いに来ています。はだしになり園庭へ飛び出していきます。そんな子どもたちが現在興味をもっている取り組み遊び

は雲梯や大縄跳び、中でもドッジボールはお気に入りです。子ども同士でルールや遊び方を確認し、体を十分に動かして楽しみます。遊ぶうちに友達との関わりが深まり、ボールの投げ方や取り方も上手になりました。今では、自分たちで園庭にラインを引いたり、チーム分けを行ったりしています。

室内では、六月よりドミノ遊びに夢中になり、以来毎日真剣に取り組んでいます。友達と意見を交換しながら並べ方を工夫しています。誤ってドミノを倒してしまった時には素直に「ごめんなさい」と謝る姿や、「大丈夫だよ。またみんなで並べればいいだけだから」と優しく友達を受け入れる姿も多く見られ、子どもたちの成長を大いに感じます。

友達関係の深まりとともに対立や葛藤なども増えてきますが、どの教員も子どもたちと十分に向き合うことを心掛けています。解決そのものを急ぐのではなく、解決に向けた取り組みの中で子どもたちが互いの良さに気付けるよう努めています。



外遊びや室内遊びを通して、今日も八王子中央幼稚園の子どもたちは、創意工夫しながら元気いっぱい遊びます。

新型コロナウイルスの影響で試行錯誤の中開催した「こいこいまつり」は、子どもからも保護者からも大好評でした。

聖徳学園多摩中央幼稚園

リサイクル活動  
牛乳パックから  
年賀はがき作り

年長松組は、毎年牛乳パックを利用して紙すきをし、年賀はがきを作ります。



上手に紙すきできたよ

牛乳パックから紙ができて、昔は木から紙を作っていたことを伝えると「牛乳パックはつるつるしているからできないよ」「どんな木から作ったの?」「と半信半疑な子どもたち。紙すきで年賀はがきを作る数日前から、牛乳パックを切り開き、小さく切り、数日お湯につけて、牛乳パックのコーティングをはがすなどの準備をし、当日を迎えました。まず、牛乳パックをミキサーにかけパルプ(紙の原料)を作ります。どろどろになった牛乳パックを手にして「お餅が伸びたみたい」「匂いはしないね」「牛乳パックから出来ているから、牛乳みたいな色なのか」と皆興味津々です。その後、パルプを溶かした水の中にすき型枠を入れ、均等に流し入れながら「これで本当にはがきになるのかな」「不思議だよ」とまだ信じられない様子でした。数日後、乾いた紙を手にする「すごい、ほんとに紙が出来た」「これ、牛乳パックから出来たんだよね」「パリパリになったね」と大喜びでした。

聖徳大学附属幼稚園  
イチヨウの木からの  
贈り物

今秋も本園には、イチヨウの木からたくさんの贈り物が届きました。園庭から空を見上げれば黄色、地面も一面に広がる黄色の絨毯。黄色一色に染まった園庭には、園児たちの元気な姿と笑い声が響きました。

二階からの景色も季節の移り変わりとともに緑から黄色へ変化しました。窓から外を眺めると、またまた黄色の世界が広がりました。この絶景が見られるのは二階クラスだけの特権です。保育室から外を眺めたり、テラスで食器を洗ったりしながら季節を感じます。

園児が小さな手いっぱい抱えたのは、イチヨウの

葉で作った花束でした。家に持って帰ると張りきって集めていました。手で集めた葉で大きな黄色の山ができて、ここから毎年恒例の一番のお楽しみです。その上をジャンプ!でんぐり返し!手にした大量の葉っぱを思い切り投げ黄色の落ち葉の大シャワー!園児たちは皆大興奮です。そんな毎日がイチヨウの葉が落ち切るまで毎日繰り返されました。



最大限に生かして園児たちのより良い成長を願い「いつもここに元気な子ども」を育てていきます。

聖徳大学附属第二幼稚園

育てています  
メダカとヒヤシンス

幼稚園の園庭には、イチヨウの木や緑色の木々、藤棚、パンジー、スプレー菊などが植えられています。寒くなると木々の葉が落ち、その落ち葉を拾って遊ぶ園児がたくさんいます。

このように本園では日頃から自然に親しんでいます。が、より身近に感じられるよう、十一月から室内でヒヤシンスの水栽培を始めました。根が出やすいように黒い袋をかぶせ、土の中と同じ状態を作りました。クルスの皆で「ひーちゃん」と名前を付け、親しみながら観察し、成長を心待ちにしました。

カを飼っています。とても小さなメダカですが、毎朝登園すると「今日はメダカちゃん元気かな」と水槽を覗いたり、餌をあげたり、どのような動きをするのか見ていたり、友達とメダカについて話合ったりする場面が見られます。



「あっ動いてる」メダカを観察する園児たち

幼稚園教育要領には「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」があり、その一つに「自然との関わり、生命尊重」と記されています。植物や小さな魚等を育てる経験から、生き物に対する知識や自然への愛情、そして生命の不思議や尊厳に気づき、さらにこのような幼児期の体験が小学校生活や

聖徳大学附属成田幼稚園  
寒くても元気に  
遊んでいます

本格的な寒さが続き室内での活動が増える時期ですが、園児は外遊びが大好きです。「外に行きますよ」と声を掛けると「やったー!」と大喜びし、園庭に飛び出していきます。はだし保育をしている本園では、冬でもはだしで外遊びする園児の姿が見られます。

満三歳児パンダ組は、らせんすべり台を滑ったり、三輪車に乗ったり、遊動円木を漕いでもらったりしています。三歳児桜組は、「だるまさんがころんだ」などのルールのある遊びを楽しめるようになりました。四歳児梅組や五歳児松組は、運動会で経験したりレジャー



が大好きです。ど体思いきり動かすことが大好きです。

園内に咲くパンジーやジュリアンの花を見て「きれいだね」「赤いお花がいいなあ」と言っている園児もいます。



園庭や隣接する公園のおかげで自然に恵まれた本園では、春は新緑の緑や藤の花、夏は朝顔のグリーンカーテン、秋は紅葉で色づく木の葉や落ち葉等、季節の移り変わりを肌で感じることができます。

この冬も霜柱や氷などの自然に触れながら、園児たちは寒さに負けずに元気いっぱい活動しています。

聖徳大学附属浦安幼稚園

サンタさん、  
ありがとう

十二月十五日(火)にクリスマス会を行いました。園児はクリスマス帽子の制作や保育室の装飾などを喜んで行い、クリスマス会を心待ちにしました。五歳児松組は、サンタさん宛てに一人ひとりが手紙を書いて玄関の魔法の柱に飾りました。

当日は、五歳児松組の「はじめのこぼれ」で会が始まると、室内のイルミネーションが一斉に点灯し光り輝きました。音楽が流れ、天使様がクリスマスマスの明りを運んで来て、各クラスの明りが灯りました。それを見つめ園児は誓いの言葉を言いました。



その後は学年ごとに歌やダンスを披露しました。満三歳児パンダ組は「うさぎ野原のクリスマス」、三歳児桜組は「サンタはいまごろ」、四歳児梅組は「フォークダンス」「そりすべり」、五歳児松組は合奏「荒野のバラ」

でした。教員も「おめでとうクリスマス」をハンドベルで演奏しました。遠くの方から鈴の音がして、トナカイのそりに乗ってサンタさんが登場しました。園児たちは「サンタさんだ」「うれしいね」と喜んで興奮しました。サンタさんが「プレゼントはお部屋に置いてありますよ」と言うと、子どもたちから大歓声が上がりました。



メリークリスマス!

クリスマス会が終わると、皆急いで各保育室に戻りプレゼントを見つけてきました。「何のプレゼントかな」「いっぱい入っている」と大喜び。この日は給食もクリスマスメニューで、園児たちはあつとという間に食べ終わりました。この日の楽しい思い出がいっつも皆の心に残り続けますように...

令和3年度 大学院(春学期入学) 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講]
博士後期課程(一般入試、社会人入試、内部推薦入試、研究生入試)
博士前期課程(私費留学生特別入試)
☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for C日程 and D日程.

※音楽文化研究科研究生入試は、C日程2月22日(月)のみ実施。

博士前期課程(一般入試、社会人特別入試、内部推薦入試、研究生入試)
☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for C日程 and D日程.

専門職学位課程(教職大学院)
(一般入試、社会人特別入試、現職教員特別入試、内部推薦入試)
☆教職研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for C日程 and D日程.

令和3年度 入試日程

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)
【総合型選抜】

Table with columns: 入試区分, 「マイ・プロフィール」提出期間, 願書受付期間, 入試日. Rows for B日程 and V期.

※看護学部は、B日程V期は実施しない。

【社会人特別入試、
アスリート・セカンドキャリア支援特別奨学推薦入試、
アスリート・サポート特別奨学推薦入試、帰国子女特別入試】

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for C日程 and D日程.

【私費留学生特別入試、私費留学生特別奨学入試】

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for C日程 and D日程.

【編入学・専攻科入試】

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for C日程 and D日程.

【一般入試】

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for A日程 through D日程.

【専門学校(女子)
(推薦入試・特別入試)】

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Rows for B and C.

【指定校推薦】

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Rows for B and C.

【一般入試】

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Rows for B and C.

【光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学)】

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for 中学校 and 高等学校.

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

通信教育部(共学) 令和3年度 春学期生募集

お問い合わせ 047-365-1200 (直通)

- 聖徳大学大学院 通信教育課程
●児童学研究科 児童学専攻
[博士前期課程/博士後期課程]
■聖徳大学 通信教育部
■聖徳大学短期大学部 通信教育部

通信教育部では、令和3年度春学期生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。

今年度は、オンラインにて個別相談(Zoomまたは電話相談)を承ります。各回事前予約制となり、定員に達した場合は受付終了となります。詳細はホームページ「NEWS」でご確認ください。

春学期生 願書受付期間

- ▶大学・短大 ~4月30日(金)【必着】
※書類選考のみ
▶大学院(博士前期課程)
B日程: 2月8日(月)~2月17日(水)【必着】
※2月23日(火・祝)試験

聖徳大学主催入学説明会

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間, 備考. Rows for 2月7日 through 3月28日.

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)

SOA オープニングセレモニー

講演 どこまでも挑戦

講師 岡崎 朋美 氏(聖徳大学客員教授・長野オリンピック銅メダリスト)

チャレンジに、年齢やキャリアは関係ありません。自分に「境界線」を引かず、目標を追い続ける「挑戦力」がある限り、人は何歳になっても進化することができます。

- 日時/ 令和3年 4月17日(土) 13:00~14:30 終了予定(12:30開場)
■会場/ 聖徳大学川並香順記念講堂 (またはZoomによるオンライン開催)
■参加費/ 無料
■お申し込み方法/ 生涯学習課へお電話または窓口にて受付。(定員500名になり次第、受付終了)

※オンライン開催の場合は、メールアドレスのご登録が必要になります。インターネットで受講できる方が対象です。

■お申し込み・お問い合わせ先/生涯学習課 Tel: 047-365-3601



聖徳大学児童学研究所主催
第15回 子どもの発達シンポジウム
新型コロナウイルス感染症と
子どもの傷害予防
定員 100名 (要事前申込)
参加費 無料

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるパンデミックは、世界の様相を一変させてしまいました。子どもたちを取り巻く環境においても、より安全・安心な環境が必要とされています。

講演 「子ども主体の保育と子どもの安全 ~日本と海外の安全の概念と子どもの権利から考える~」

「あなたも子ども傷害予防のプロ「子ども安全管理士」になりませんか?」

「保育者・看護師の視点・実践から考える子どもの傷害予防」

パネルディスカッション 講演者3名と司会者2名で、新型コロナウイルス感染症パンデミック状況下での子どもの傷害予防について議論を深めます。

日時 令和3年 2月6日(土) 13:00~17:00

開催方法 「Zoom」によるオンライン配信

参加ご希望の方は、以下の申込フォームにアクセスの上、事前申込みをお願いします
申込期限: 令和3年 2月4日(木)
申込フォーム: http://bit.ly/jidouken2020206



主催: 聖徳大学児童学研究所 協力: 聖徳大学大学院児童学研究科、聖徳大学児童学部
後援: 松戸市、松戸市教育委員会

■お問い合わせ 聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が懸念されています。

本紙に掲載しているイベント・行事については、今後中止・延期になる場合があります。事前に各学校や園にお問い合わせをお願いします。

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後とも内容の充実をめざしてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第112号
発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

21.2.1 ret (14.0)

セイトク®の派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション
東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般 13-300726
13-ユ-300913